



2018年 2月 7日

各 位

会 社 名 株式会社 資 生 堂
 代表者名 代表取締役 執行役員社長 兼 CEO
 魚 谷 雅 彦
 (コード番号 4911 東証第 1 部)
 問合せ先 IR 部長 北川 晴元
 (TEL. 03-3572-5111)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2017年11月9日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

1. 2017年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2017年1月1日～2017年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	985,000	65,000	64,000	5,000	12.52
今回発表予想(B)	1,005,000	80,500	80,500	22,500	56.33
増減額(B-A)	20,000	15,500	16,500	17,500	
増減率(%)	2.0	23.8	25.8	350	
(ご参考)前期実績 (2016年12月期)	850,306	36,780	37,174	32,101	80.41

2. 修正の理由

2017年12月期通期連結業績は、好調な事業業績を反映し、売上高、営業利益ともに、前回予想を上回り、過去最高をさらに更新する見込みです。売上高は、プレステージブランドがグローバルで飛躍的に伸長し、全地域で力強い成長を実現したことや当社の強みを活かしたボーダレスマーケティングの効果により、日本・中国・トラベルリテールで成長に拍車がかかったことで、創業以来初めて1兆円の大台を突破する見込みです。日本の主要ブランドが高い成長を実現すると同時に、インバウンド需要を大きく獲得できたこともこの成長をけん引しています。また、しわ改善新商品が日本のみならずアジアでも幅広く新規愛用者を拡大し、戦略どおり新しい市場の創出につながっています。これらの取り組みにより、売上高は前回発表を上回る見込みです。

営業利益および経常利益は、売上増に伴う差益増に加え、中高価格帯の売上伸長による原価率の低減、マーケティング投資のROI向上などから、前回発表を大きく上回る見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益については、上述の理由に加え、2017年末の米国での税制改正を受け税金費用が減少したことや、ゾートスインターナショナルInc.の事業譲渡益に係る税金費用が見通しを下回ったことなどから、前回発表を大きく上回る見込みです。

(注)上記の業績予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上